

川漁師入門【うなぎ釣り】

日 時	<p>【友釣り】</p> <p>①令和元年5月18日（土）午後2時～4時 ②令和元年6月15日（土）午前9時～正午 ③令和元年7月27日（土）※増水のため中止</p> <p>【うなぎ釣り】</p> <p>④令和元年7月18日（木）午後3時～5時45分 ⑤令和元年8月8日（木）午後3時～4時40分</p> <p>【もくずがに漁】</p> <p>⑥令和元年9月15日（日）※増水のため中止 ⑦令和元年10月下旬 ※台風19号の影響で中止</p>
場 所	①南那須公民館第1会議室、②那珂川、④南那須公民館和室・荒川、⑤南那須公民館第1会議室
講 師	①②岡崎 孝 氏、④⑤久郷 良一 氏
参 加 者	①5名、②4名、④5名、⑤5名
費 用	①②オトリ代1,200円、④⑤無料

この講座は、【友釣り】全3回、【うなぎ釣り】全2回、【もくずがに漁】全2回の合計7回で企画した講座でしたが、天候や川の増水に左右され、残念ながら実施できたのは4回だけでした。

実施できた中でも特に好評だった、【うなぎ釣り】についてご報告します。

【講座の内容】

川での様々な漁法に精通した地元の久郷良一さんを講師に迎え、1回目は1本針の仕掛けづくり、2回目は延縄の仕掛けづくりを行いました。

うなぎ釣りの仕掛けは、市販のものもありますが、ハリスの結び方から説明していただき、すべて手作りで作り上げました。最初は、ハリスが太かったり、巻いた部分の抑えが甘かったりするため、結び目が緩んでしまい、何度も巻き直しをしなければなりませんでした。

でも、全員が何とか3セットの仕掛けを作ることができ、早速どじょうを餌にして、知る人ぞ知る荒川の人気スポットに仕掛けました。

翌朝5時頃、参加者1名と担当職員で仕掛けの回収に行きましたが、ほとんどの仕掛けの針に餌のどじょうがついたままで、残念なことに釣果はありませんでした。改めて、天然うなぎを釣ることの難しさを思い知らされました。

2回目は、1本の水系に針を5本程度結び付けた延縄の仕掛けづくりを行いました。講師から再度ハリスの結び方のポイントを教えてもらい、2セットの仕掛けを作りました。



今回は、作った仕掛けを設置しませんでした。活動前の雑談の中で、参加者のひとりから、1回目の活動後、自分で仕掛けを設置して2匹の釣果があったというビックニュースがあり、みんなで我が事のように喜び合いました。

その方によると、最初は餌にどじょうを使ったそうで

すが、手に入れるには手間がかかるため、うなぎ釣りに適しているドバミミズを使ったそうです。1匹目は約60センチメートル、2匹目は約80センチメートルの長さで、太さも空瓶並みの超大物が釣れたとのこと。水面を這うように引き吊り、岸に手繰り寄せてくるとスムーズにゲットできるとのことです。

それにしても、お店で食べたらかば焼きができたのでしょうか。うなぎの他になまずも釣れたそうですが、6号のハリスが切られていることもあり、得体の知れない大物（鯉？）がかかっていたのでしょうか。荒川にも貴重な天然うなぎが、まだ残っています。



【まとめ】

釣り人は、雑魚釣りにしても友釣りにしても仕掛けを作る段階から釣果を期待して、自分なりのアイデアを入れ、ワクワクしながら仕掛け作りに励みます。

そして、釣果が思うように得られなくても、「ぼうず」でもへこたれず、また励んでしまう。ここが「釣りバカ」と言われるゆえんなのかもしれませんが、何ともいじらしい姿です。「釣りバカ」の活躍できる自然環境を守り、後世に伝えていくことが大切です。様々な要因が魚類の生育環境の悪化に影響していますが、しっぺ返しを受けるのは私たちなのです。

昨今は、シラスウナギの捕獲が激減して、養殖うなぎの値段が高騰していますが、財布のひもを緩めさえすれば、それでも食べることができます。うなぎが食べられるありがたみを意識しなければなりません。

今回の講座は、那珂川南部漁協の許可を受けて開設することができましたが、うなぎ釣りにも遊漁証が必要です。所定の漁業料を支払い、誰にはばかることなく釣りを楽しんでもらいたいものです。そのことが、ひいては荒川、那珂川の魚類の生育環境を守ることにつながるのです。

「釣りバカ」になってこそ、何度もチャレンジすることと忍耐が必要なことが体感できるのではないのでしょうか。